

教職課程を履修している4年生の皆さんへ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度の前学期の授業の開始が遅れています。

しかしながら、教育実習や採用試験の実施は待たなしで予定されていることを踏まえて、明海大学教職課程センター（METTS）は、この期間内に必要最低限のことを学修する必要があると判断し、以下の課題に取り組むべく、4月6日に教育課程を履修している4年生にはレターパックやメール等で、課題を送付しました。

1 すべての教職課程履修の4年生に対する課題

例年、教員免許状を取得するための教育実習が5月上旬から6月下旬までに実施されます。

このことから、すべての教職課程履修の4年生が確実に教育実習で行うべきことを学修する必要があると判断して、次の課題を用意しました。

- (1) 送付された「教育実習に当たって」の留意事項を読み、教育実習の心構えを理解する。
- (2) 送付された「教育実習の記録（抜粋）」を読み、自分が行う教育実習の抱負を書く。
- (3) 送付された「指導と評価の一体化」のための学習評価の資料（文部科学省作成）を参考にして、指示に従い、学習指導案を作成する。

その上で、指定された期日までにMETTSにメール又は郵送で課題を提出する。

2 教員採用試験を受験する学生に対する課題

また、教職課程を履修している多くの学生が教員採用試験を受験する日程が7月12日となっています。

このことから、教員採用試験で出題される教職教養の問題、専門教養の問題（日本語学科の学生は国語、英米語学科の学生は英語）に、今のうちに、精通する必要があると判断して、次の課題を用意しました。

(1) 教職教養問題対策

指定された動画を視聴して、送付された問題について解答して、解答をMETTSにメールで送る。問題は、学習指導要領、生徒指導、教育評価、特別支援教育、人権教育、教育法規など。

(2) 専門教養問題（国語・英語別）対策

送付された問題を解き、解答をMETTSに送付したり、LINEテレビ電話などで相談する。これに加えて、特に、国語においては、古文・漢文に関する問題も出題されるので、指定された動画を視聴して学習したり、英語においては、別に送付される模擬試験にチャレンジする。

その上で、指定された期日までにMETTSにメール又は郵送で課題を提出する。

(3) 論文対策

特に、教員採用試験で論文が出題される（例：東京都）自治体を受験する学生に対しては、個別対応する。

※ なお、必要に応じて、第2弾、第3弾の課題も考えていきます。